

平成29年度

ご案内 & お申込み要領



- 期間:** 平成29年5月～平成30年4月
- 回数:** 毎月1回(原則第2水曜日)
第1回目:平成29年5月10日(水)
オリエンテーション10:30～12:00
オブザーバー参加13:00～17:00
- 場所:** 和泉橋区民館 洋室A
- 参加費:** 無料
- 募集人数:** 20名(先着順)
- 参加条件:** 関東地区において
知的財産業務やR&Dに携わっている方
特許の価値評価に関心をお持ちの方
- 主催:** 株式会社レイテック

PAT-LIST研究会 in 東京

開催について

下記の通り開催いたしたく会員募集を行います。

参加資格

知的財産業務やR&Dに携わっている方(プロバイダーは除く)で特許情報のみえる化、特許マップの活用に関心をお持ちの方。

目的

『PAT-LIST研究会』は、以下の目的で活動しております。

1. **PAT-LIST**(**PAT-ValueAs**を含む)という特許情報活用ツールの操作を熟知し、このツールを用いて自己の業務に特許情報の有効活用を行い、会社に貢献する。
2. 特許情報活用の可能性を追求し、有益な活用法を創出し、**PAT-LIST**の機能UPや改善の提案を行う。
3. 会員間の親睦を図り、様々な業種の方々との情報交換を行い、特許情報活用の仲間作りを行う。

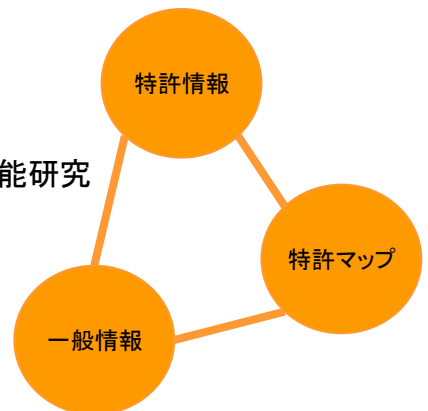
運営方針

異業種間の自由闊達な討議と共に、笑顔、挨拶を重んじ、会員が設定したテーマによる実践道場での研究・演習を行うことにより、自己研鑽を狙います。

《主な研究テーマの例》

1. 事業戦略の研究
2. 研究・開発戦略の研究
3. 知財戦略の研究
4. 検索・解析ツールに求められる機能研究
5. PAT-LISTの使い方研究
6. ツールの比較研究
7. 検索解析方法の研究 等

※上記以外にご希望の研究テーマがありましたら、ご相談下さい。



■ 実践研究・演習

PAT-LIST研究会って何？

『PAT-LIST研究会』は、研究会活動を推進すると共に、PAT-LISTのプロを目指した訓練の場を提供いたします。

会社での貴重な時間を割いて参加していただく会員には、会社には何らかの成果を持ち帰っていただくと共に、自らを鍛えていただき、PAT-LIST、特許マップ作成のスキルアップを図っていただきます。

全て参加しなくていけないの？

グループワークで継続的な研究が中心となりますので、極力、同じ人が毎回参加して頂くようお願いしております。但し、事情によりメンバー変更することも可能です。全回数(12回/年)の7割以上の参加者には希望に応じ修了書を発行します。

どのように研究を進めるの？

グループワークが中心となります。グループメンバーで課題(=研究テーマ)を定め、その課題を解決するためにPAT-LISTを使用しながら具体的な解決手法を学んでいきます。研究成果に加え、この研究過程(=考え方や使い方、ノウハウなど)に価値があります。

入会資格は必要なの？

必要ありません。但し、他のメンバーとの共同研究(グループワーク)がメインとなりますので、協調性・積極性・創造性のある方が望ましいです。ただし、同業及び個人でご参加の方はお断りすることがあります。

秘密保持、成果物の帰属は？

参加者間での秘密保持は結んでおりません。各自の判断により開示可能な情報をベースに研究を進めます。研究成果は、主催者のレイテックに帰属します。(今までに4件の出願実績あり、平成23年度特許2件、平成21年度特許1件、平成20年度実用新案1件)

また、発明を出願する場合の出願人は(株)レイテックとします。ただし、成果物から収益が発生した場合には適切な利益分配を受けられます。

入会するメリットは？

研究期間中、PAT-LISTを1年間のみ無料で貸出いたします。更に、ショートレクチャーで情報活用の基本や考え方を学ぶと共に、異業種の知財メンバーとの意見交換、情報交換が行えます。一年間の開催期間中に秋季発表会、成果発表会も組み込まれており、研究成果(OUTPUT)も明確です。

お金は掛かるの？

基本的に無料ですが、研究成果のテキストは購入していただきます。ただし、アドバイザーの方にはテキストは無料進呈いたします。

PAT-LISTの使い方は教えてくれるの？

もちろん。PAT-LISTは、特許情報をみえる化する有用なツールです。研究会を有意義に体験していただくためにも、入会后、数ヶ月で基本をマスターいただくように指導します。

この研究会の実績は？

平成18年に東京で発足し、今年で東京は12年目、名古屋は9年目を迎えています。この間の延べ参加企業等は308社、延べ参加人数は400人となります。秋季発表会(10月)と成果発表会(4月)には多くの方が関心を示され、平成27年度第10期の成果発表会(東京)では86名が聴講されています。平成28年度研究会は東京が3グループ、15名、名古屋が2グループ、12名で研究を行いました。

PAT-LIST資格認定に有利ですか？

検索システムの利便性が高まり、誰でも簡単に特許調査ができる時代です。それに伴い、特許情報を知財戦略、研究開発戦略、事業戦略等に活用することが日常的に行われつつあります。レイテックでは、PAT-LISTの能力UPを狙い、PAT-LISTを効果的に活用できる技能者の資格認定(4段階)を設けました。PAT-LIST研究会に参加すると、活動を通じてPAT-LISTを使いこなせるようになり、資格認定に大変有利になります。過去9年間で152名が資格を取得されています。

